

# 横浜市感染症発生動向調査報告（令和7年9月）

## 《今月のトピックス》

- 百日咳の報告が依然多い状態です。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。
- 梅毒は20歳代～50歳代を中心に幅広い年齢層で患者が多く発生し、10歳代の報告もみられます。  
妊婦の報告も複数みられます。
- RSウイルス感染症の報告が増加しています。

◇ 全数把握の対象 <2025年8月25日～9月21日に報告された全数把握疾患>

細菌性赤痢	1件	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1件
腸管出血性大腸菌感染症	30件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
デング熱	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
日本紅斑熱	1件	水痘(入院例に限る)	1件
レジオネラ症	7件	梅毒	32件
アメーバ赤痢	1件	百日咳	155件

- 細菌性赤痢**:50 歳代で、感染経路はその他(河川での遊泳)、感染地域はインドネシアと推定されています。
- 腸管出血性大腸菌感染症**:10 歳未満～70 歳代で、O 血清群は O157 が 24 件、O26、O103、O111 がそれぞれ 1 件、O 不明が 3 件です。感染経路は経口感染と推定される報告が 10 件、接触感染と推定される報告が 2 件、経口感染・接触感染と推定される報告が 1 件、経口感染・動物等からの感染が推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 16 件です。
- E 型肝炎**:50 歳代で、無症状病原体保有者です。感染経路等は不明です。
- デング熱**:10 歳代で、感染経路は海外(フィリピン)での蚊からの感染と推定されています。
- 日本紅斑熱**:50 歳代で、感染経路は三重県・神奈川県での昆虫等からの感染と推定されています。
- レジオネラ症**:50 歳代～80 歳代で、肺炎型が 7 件です。感染経路は水系感染と推定される報告が 2 件、感染経路等不明の報告が 5 件です。
- アメーバ赤痢**:60 歳代で、腸管アメーバ症です。感染経路は経口感染と推定されています。
- カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:50 歳代で、感染経路は医療器具関連感染と推定されています。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:10 歳未満及び 70 歳代で、血清型はいずれも A 群です。創傷感染と推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 1 件です。
- 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)**:70 歳代で、無症状病原体保有者です。感染経路は性的接触(異性間)と推定されています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症**:10 歳未満～90 歳代(ワクチン接種歴 4 回 1 件、無 1 件、不明 2 件)で、感染経路は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 2 件、感染経路等不明の報告が 2 件です。
- 水痘(入院例に限る)**:10 歳未満(ワクチン接種歴 2 回)で、感染経路等は不明です。
- 梅毒**:10 歳代～80 歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期 15 件、早期顕症梅毒Ⅱ期 8 件、無症状病原体保有者 9 件です。性的接触による感染と推定される報告が 27 件(異性間 19 件、同性間 4 件、詳細不明 4 件)、感染経路等不明が 5 件です。
- 百日咳**:10 歳未満～90 歳代(ワクチン接種歴 5 回 1 件、4 回 53 件、3 回 4 件、2 回 1 件、1 回 1 件、無 10 件、不明 85 件)で、家族内感染と推定される報告が 36 件、周囲の流行と推定される報告が 15 件、家族内感染及び周囲の流行が推定される報告が 2 件、感染経路等不明の報告が 102 件です。

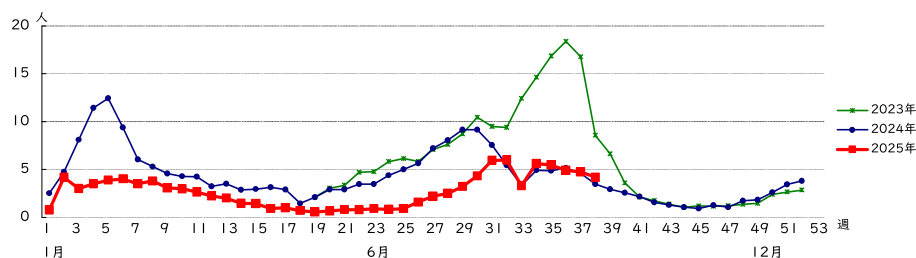
# ◇ 定点把握の対象

※ 2025 年第 14 週(3 月 31 日～4 月 6 日)以降、小児科定点は 94→51、  
内科定点は 59→39 医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2025 年第 35 週	8 月 25 日～8 月 31 日
第 36 週	9 月 1 日～9 月 7 日
第 37 週	9 月 8 日～9 月 14 日
第 38 週	9 月 15 日～9 月 21 日

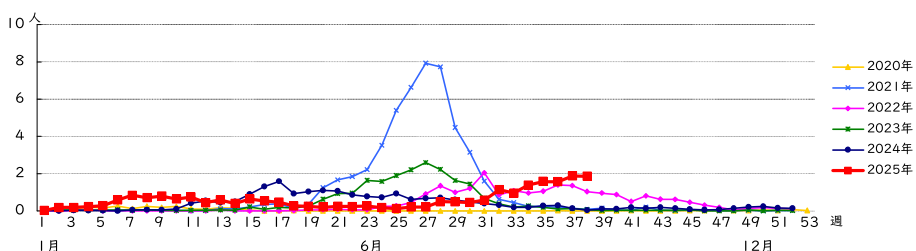
## 1 新型コロナウイルス感染症

2025 年第 25 週(6 月 16 日～6 月 22 日)以降増加傾向に転じ、第 31 週以降はおおむね横ばいから緩やかに減少しています。第 38 週は 4.19 です。



## 2 RS ウイルス感染症

2025 年第 26 週(6 月 23 日～6 月 29 日)以降増加傾向となり、第 38 週は 1.86 です。



## 3 性感染症(2025 年 8 月)

性器クラミジア感染症	男性:34件	女性:19件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:14件	女性:12件
尖圭コンジローマ	男性:24件	女性: 0件	淋菌感染症	男性:13件	女性: 5件

## 4 基幹定点週報

	第35週	第36週	第37週	第38週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.50	0.00	0.25
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.50	1.00	0.50
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

## 5 基幹定点月報(2025年8月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5か所、ARI定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計14か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI定点とARI定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院)定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2025 年第 35 週～第 38 週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症)定点 115 件、小児科定点 6 件でした。

10 月 7 日現在、表に示した各種ウイルスの分離 5 株及び遺伝子 36 件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2025 年第 35～第 38 週)

主な臨床症状等 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	1 11	
インフルエンザウイルス AH1pdm09	1 -	
RSウイルス	- 7	- 3
パラインフルエンザウイルス 3型	- 1	
アデノウイルス 2型	- 1	1 -
アデノウイルス 3型	1 -	
アデノウイルス 54型	- 1	
ヒトメタニューモウイルス	- 1	
ライノウイルス	- 5	- 2
ライノウイルスまたはエンテロウイルス	- 4	
コクサッキーウイルス A16型	1 -	
合 計	4 31	1 5

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

# 〈細菌検査〉

2025 年第 35 週～第 38 週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症 25 件、細菌性赤痢 1 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 件、侵襲性肺炎球菌感染症 2 件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 件、菌血症（メタロ  $\beta$ -ラクタマーゼ産生 *Achromobacter* sp.1 件）でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症 7 件、レプトスピラ症疑い 2 件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎 5 件、「ARI 定点」から 3 件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2025 年第 35 週～第 38 週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等	
保健所	腸管出血性大腸菌感染症		25	O157 : H7 VT1 VT2	(5)
				O157 : H7 VT2	(11)
				O157 : H－ VT1 VT2	(2)
				O157 : H－ VT2	(1)
				O103: H2 VT1	(4)
				O26 : H11 VT1	(1)
				O111 : H－ VT1 VT2	(1)
	細菌性赤痢		1	<i>Shigella sonnei</i> II 相	(1)
保健所	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		3	A 群溶血性レンサ球菌 T4 型	(2)
				A 群溶血性レンサ球菌 T 型別不能	(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症		2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 6c 型	(1)
				<i>Streptococcus pneumoniae</i> 24B 型	(1)
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1	<i>Klebsiella aerogenes</i>	(1)
		菌血症	1	<i>Achromobacter insolitus</i> blaIMP-1	(1)
分離同定		項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所		レジオネラ症	7	喀痰	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (2) レジオネラ属菌培養 陰性 (5)
		レプトスピラ症疑い	2	尿・血液	レプトスピラ遺伝子陰性 (2)
小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	咽頭ぬぐい液	溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	A 群溶血性レンサ球菌 T4	(3)
				A 群溶血性レンサ球菌 T12	(1)
				培養 陰性	(1)
ARI サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
ARI 定点	咽頭ぬぐい液	ARI	3	百日咳菌遺伝子	陰性 (3)
				肺炎マイコプラズマ遺伝子	陰性 (3)
				溶血性レンサ球菌 培養	陽性 (1)
				溶血性レンサ球菌 培養	陰性 (2)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】